

あいちの印刷

10

2007.10

No.431



飛騨川金山町

も く じ

巻頭言「皆さんの知りたいことを事業に！」 / 教育・労務委員長 岡田邦義	3
平成19年9月期持出理事会	4
「全国ボランティア フェスティバルあいち・なごや」開催	5
マーケティング委員会・マーケティングセミナーを開催 「業態変革推進プラン」	6
「技能検定オフセット印刷作業実技試験 会場認定工場」スタート	8
身近な催し物のお知らせ	9
国際グラフィックアーツショー「IGAS2007」開幕	10
We Love EARTH We Love PRINTING 「2007印刷文化典」開催	11
「印刷コラボレーション展2007」 / お知らせ / 事務局だより	12

皆さんの知りたいことを事業に！

教育・労務委員長 岡田 邦義

「印刷価格が上がらない!」「現在の価格では利益が出ない」等々よく耳にします。どうしたら現在の印刷価格に見合う製造コストを実現できるのか?いろいろな試行錯誤をされていると思います。1つに脱印刷業、また、1つには材料コストを抑える。また1つに新商品の開発等々いろいろな考えがあります。教育・労務委員会では「作業工程の見直しで、コストを抑えることができないか?」を考えています。作業工程を簡略化できればそれだけコストを抑えれます。それには、各職場でのより一層の知識が必要です。営業マンの再教育、制作での省力化・印刷工程での見直し・メンテナンスによるトラブル防止などの社員教育が必要です。そのための様々な教育セミナーを委員会では開催したいと思います。組合員の皆さんが参加いただける、魅力があり、メリットのある事業をするにはどうしたらいいか考えています。また、魅力的な委員

会活動をする為にも、委員会の活性化を図り、一人一人の意見を委員会事業として生かしていけたらと思っております。

本年度から実施しました、印刷技能士試験認定工場認定事業もその一環です。印刷業として規模の大小に関係なく印刷機械の管理は必要であり、ISO9001等々の品質管理マニュアルでは図ることのできない実際の印刷品質の基準をと思っています。

初年度ということもあり、本年度は昨年技能士試験の会場をお引き受けいただいた企業を中心に申し込みいただき、認定させていただきました。今後も引き続き実施させていただく予定にしておりますのでご利用下さい。

また、2月に実施予定の教育・労務委員会セミナーも、各企業が今後の印刷業、新しい印刷物の参考となる内容を検討しておりますので是非ご参加下さい。



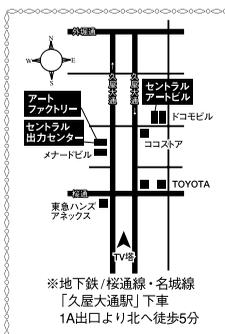
東海地区最大級!!

画材・額縁
絵画・ギャラリー

セントラル画材株式会社

名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル
代表 tel 052-951-8998 fax 052-951-8997

URL: <http://www.central-gazai.co.jp>



※地下鉄/桜通線・名城線
「久屋大通駅」下車
1A出口より北へ徒歩5分



必ず貴方の仕事の力になります



CENTRAL GROUP

- (株)セントラルグラフィックセンター/営業部
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル5階
Tel: 052-950-3456 Fax: 052-950-4456
- セントラル 出力センター
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル2階
Tel: 052-953-8628 Fax: 052-951-2641
DTP 出力・大型カラー出力 (ポスター・屋外対応プリント他)

- (株)セントラル画材(株)/企画営業部
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-953-8737 Fax: 052-951-8993
- セントラル アートファクトリー
名古屋市中区丸の内3丁目18-12 大興ビル3階
Tel: 052-951-8994 Fax: 052-951-8993
フレーム加工・看板制作等

- セントラル プレームセンター
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル3階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6518
額縁・松縮コレクション・フレーム・額縁販売
- セントラル アートギャラリー
名古屋市東区泉1丁目13-25 セントラル・アートビル4階
Tel: 052-950-6566 Fax: 052-950-6516

マーケティング委員会・マーケティングセミナーを開講

「業態変革推進プラン」

全印工連常務理事・水上光啓氏が解説



業態変革推進プランについて解説する水上全印工連常務

愛印工組・マーケティング委員会（鳥原久資委員長）では、9月12日（水）午後6時30分より、栄ガスビル5階会議室において、平成19年度第2回マーケティングセミナーを開講しました。

今回は「業態変革推進プラン - 全印工連2008計画 - 第3ステージ 新創業 “業態変革5 Doors”」をテーマに開かれ、水上光啓氏（水上印刷代表取締役社長/全印工連常務理事、同経営革新・マーケティング委員会委員長、同業態変革推進企画室委員）に講師をお願いし、なぜ変革が必要なのか、ワンストップサービスとはどういうことなのかについて解説していただきました。聴講者は61名でした。

セミナーに先立ち、挨拶に立った鳥原委員長が次のように述べました。

「昨年度から経営革新委員会、マーケティング委員会は通常のお決まり委員会ではなく、前向きに企業経営に取り組む方々に旬の話題をとということで、いろいろな企画を立てて事業活動を進めています。本日は、業態変革推進プラン第3ステージの解説をしていただきます。昨年度は第2ステージの“7 Keys”の説明会を行いました。今回はそれが一段階進んで第3ステージとなり“5 Doors”の解説をしていただきます。『顧客創造』を念頭に置き、企業がどのようにして新しいことにチャレンジし、生き残っていくかを水上社長に語っていただきます。

私たちと同じ目線で、話していただけますので、出席された方は参考になるところが多いと思います。良い時間を過ごしていただければ幸いです。聞かれた話の内容は社員の皆様方にも伝えられ、一緒に企業業績を伸ばしていくことに役立ててもらいたいと思います。社員でこのセミナーに参加している方は、企業に対して意見をどんどん出していただき、社業に活かしてもらいたいと考えます」

このあと、水上氏が講師を務め、業態変革の必要性について、激変する海外の業界情勢及び事例も交え、約1時間半にわたり解説しました。

ドイツ・イギリス・アメリカ 海外の印刷産業の状況

水上氏は、まず日本の印刷産業を取り巻く状況を数値で説明、印刷産業の出荷額は1997年にピークを迎え、その後減少し続けているものの、紙・インキともに出荷量は増えており、印刷物そのものの量は減少しておらず、印刷価格が下がっている事実を認識する必要があると指摘しました。

次いで、海外の印刷産業の状況（ドイツ、イギリス、アメリカの環境変化）を説明しました。それによると、まず、ドイツでは、2001年のITバブル崩壊

や付加価値税の上昇（2007年には何と19%！）による景気の厳しさに加え、東欧の人件費の安さという脅威にさらされています。ミュンヘンから車で2時間半ほど走るとチェコに入りますが、チェコの平均賃金はドイツの4分の1だそうです。従って、顧客も早くて安く同じサービスならば、発注先の地域は問いません。これらの理由でドイツの印刷業界の経営は厳しく、事業所数は2003年の1万3,000社から3年間で1万0,500社に減少しており、2010年には7,000社になるとの予測もあります。そのため、ドイツの印刷業経営者は、納期の短いものは国内で処理し、納期に余裕のあるものは東欧の国に回して対応しています。そのような形で、短納期に対応できるよう全体をシステム化しITを味方にして業務を遂行しているのです。また、中小企業が多いのは日本ばかりでなく、ドイツの印刷業も95%が10人未満の企業規模だそうです。ちなみに、アメリカでは印刷業の64.1%が10人以下とのことです。

イギリスの印刷業界も大変な状況になっているようです。イギリスでは、プリントマネジメント会社（PMC）が台頭しているのです。PMCとは、一般企業の印刷発注を代行する会社のことで、印刷物の調達から在庫管理、ドキュメント管理、請求までを業務としています。その仕組みは、例えば、2億円以上の大口発注企業から30%のコストダウンを約束し、ITを駆使することにより印刷会社への発注額を40%削減して10%の差額を得るといったものです。イギリスでは、このような状況の中で、中小印刷会社は、PMCの傘下に入り厳しいコスト競争を生き抜くか、自らPMCに挑戦するかを選択を迫られているのです。

アメリカでは、従来のスタイルでは存続できなくなり、新しいビジネスモデルであるオートマチック・

自動化できる企業が生き残れるといわれているのですが、それに対応できるのはわずかだとされています。その中に入るためには大変な努力をしなければなりません。どうすれば残れるのかというと、まずはアグレッシブなビジネススタイルをつくる必要があるそうです。激変する社会の中にあっては、受け身になったとたんに置いてきぼりになります。永遠に社会の変革の1歩くらい先を行かない限り存続できません。それから、パートナーシップも重要です。大変革する中で、中小企業は1社ではなかなかすべては賄えません。そのために、パートナーシップを組みます。社会はそういう変化を求めているのです。そして、ネットビジネスです。これは、いろいろな仲間とコラボレーションしていけば、解決できます。もう一つはコンプライアンス。この四つの条件を満たせば、アメリカでも残れるとのことでした。

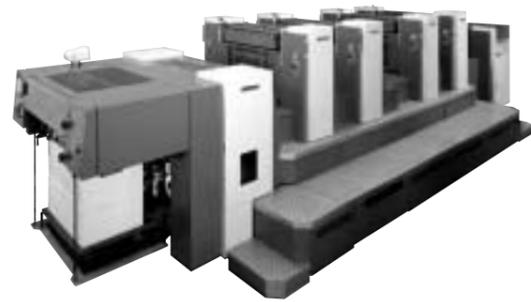
以上の変化に対して、独自の戦略をもって生き残りを図る海外企業の事例を述べたあと、水上氏は全印工連が進める「業態変革推進プラン」について説明しました。

業態変革の必要性 必要になる武器“独自性”

業態変革は、浅野体制4年間、推進してきました。これが改めて、3冊の集大成としてまとめられました。1冊は浅野会長のイメージで書いた社会の変化に対するものです。それと、第2ステージの冊子と第3ステージの冊子があります。第2ステージは業態変革の“7 Keys”「原点回帰」、七つの項目で自社の原点を見詰めようというもの。それを踏まえて、第3ステージ“5 Doors”では、新創業へのアクションプランを考えます。

なぜ、業態変革が必要なのか、それは従来型では、

これが、魅せるマシン。性能ぐんぐん進化。魅力ますます真価。



SHINOHARA 75 VHP

篠原商事株式会社 株式会社篠原鐵五所

本社 〒420-0813 静岡市長沼596番地
TEL(054)261-2141 FAX(054)262-6279

名古屋営業所 〒454-0985 名古屋市中川区春田3-147
TEL(052)302-5651 FAX(052)302-5654

最新の情報は <http://www.shinohara.com> に掲載しています。

SHINOHARA
1919

SCREEN MEDIA TECHNOLOGY ここが違います。大日本スクリーンの CTP Workflow

1 PDF1.4対応をはじめとする最新の
コアテクノロジーでCTPをサポートする
インテリジェントRIP

ネットワークプロダクション対応
インテリジェントRIP
Trueflow

2 目的別に選択できるPlateRiteシリーズ

四六半判対応
サーマルプレートレコーダー
PlateRite4300

四六全判対応
サーマルプレートレコーダー
PlateRite8600

株式会社メディアテクノロジー ジャパン

本店 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル <http://www.mtjn.co.jp/>
名古屋支店 / 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル 052(218)6400

大日本スクリーン製造株式会社

メディアテクノロジー カンパニー <http://www.screen.co.jp/>
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目



セミナー会場のもよう

もう先行きが望めないからです。クライアントの最大満足は、印刷物によって商品が売れることです。印刷会社が納めた印刷物を顧客が使い、その結果、売上が伸びることに意義があるのです。従来のように印刷物を提供するだけでは、もう意義は認めただけです。お客様の立場になって考え、煩わしさを省いて楽になってもらうことが「ワンストップサービス」です。そのようにして、安心感を顧客に

与えることがすべてなのです。顧客の視点を持ち、お役に立つことを考えるわけです。そのためには、マーケティングの能力も必要になります。

変化は絶対に止められないので、味方にします。そのためには、社会の大変化をきちんと認識する必要があります。それもポジティブに捉えなければなりません。変化は決してマイナスではありません。紙と電子メディアをクロスさせます。相乗効果を求めるわけです。それに対応するためには、企業を新たに創業するような覚悟で社員教育をする必要があります。また、自社の競争力を高めるために、差別化を絶えず考え、利益を生むビジネスに経営資源を集中的に投下します。

人間の感性はITを超えられます。ITだけで成立する社会ならば、人間は必要ありません。印刷業の仕事はITに感性を加えていくことです。裏を返せば、ITは人間の感性を超えることはできないのです。ただ、ITはうまく使いこなさなければなりません。そ

して、お客様にマッチした仕組みをつくるのが印刷産業のIT化です。IT化によって仕事が簡単に効率的に行えるという形が今後の印刷業の目指すべき方向になります。

武器なくして戦うことはできません。まず必要になる武器は独自性です。ただ、大きく変化する社会では、1社では武器をつくるのは難しいのです。だからこそ、パートナーシップを構築します。工業組合はパートナーシップをつくる最高の場です。お互いに協力し合うという連帯を大切にしながら進んでいきます。また、組合はロードマップは提供できますが、それを活用するのは組合員の皆様方です。個々の企業が向かうべき道を明確化し、社内で共有化していただきます。弱点、ギャップを埋めれば、必ず強くなります。そして、ゴールは、それぞれの企業に決めてもらうこととなります。

水上氏は「業態変革をぜひ推進していただきたい」との言葉で講演を終わりました。

「技能検定オフセット印刷作業 実技試験会場認定工場」スタート

教育・労務委員会では、本年度から「技能検定オフセット印刷作業実技試験会場認定工場制度」をスタートさせました。

これは、同実技試験を実施する上で、受験者がより良い環境で受験できることと、合格率向上を目的として制定したものです。また、各工場においては、自社の機械状況を客観的に診断でき、審査の結果、認定工場を取得できれば、自社での機械整備が良いことを顧客にアピールすることができます。

初年度であります本年度は、7月1日付けで下記の11工場を認定致しました。

- * ㈱アサヒグラフィックス
- * タナカ印刷㈱
- * 長苗印刷㈱(春日井工場)
- * ㈱奉仕堂印刷
- * 西川コミュニケーションズ㈱(グラフィックアーツセンター)
- * ㈱プリンター



認定工場認定書

- * ㈱丸和印刷
 - * 三起印刷㈱
 - * ㈱鈴活印刷
 - * ㈱豊橋印刷社
 - * 半田中央印刷㈱
- 以上11社(順不同)

来年度の認定工場は、平成20年2月に申請を募集致しますので、是非ご検討下さい。なお、申請にあたっては、技能検定オフセット印刷作業実技試験会場としてご協力いただけることが条件となります。

開催日時	事業・行事、場所、備考
10月21日(日)	事業・行事 従業員・家族合同レクリエーション大会(雨天決行) 場所 さつた峠~由比宿ハイキング ・参加費:大人一人3,500円 子供一人2,500円 ・参加の受付は終了しました。
10月31日(水)	事業・行事 平成19年度 永年勤続優良従業員表彰伝達式 場所 愛知県印刷会館 3階 会議室 会長及び理事長表彰(勤続10年以上)*受付は終了しました。愛知県知事表彰(勤続15年以上)*表彰日は11月1日です。
11月7日(水) 18:30 ~ 20:30	事業・行事 第3回マーケティングセミナー「広告業界のコンテンツ戦略」 場所 栄ガスビル 5階 会議室 ・講師:沼澤 忍氏 (㈱電通CRマネジメント局マネジメント計画部部長) ・参加費:愛知県印刷工業組合組合員一人2,000円、一般人3,000円 ・問い合わせ、申込みは事務局まで
11月21日(水) 14:30 ~ 16:30	事業・行事 経営革新セミナー「印刷業の高付加価値化への可能性~印刷ほど儲かる商売はない~」 場所 栄ガスビル 5階 会議室 ・講師:宮本 多題詩氏 (㈱扶桑コンサルティング、元㈱電通) ・参加費:愛知県印刷工業組合組合員一人3,500円、一般人4,500円 ・問い合わせ、申込みは事務局まで
12月5日(水) 15:30 ~	事業・行事 支部長会・理事会 場所 印刷会館 3階 会議室
(平成20年) 1月11日(金)	事業・行事 平成20年 新春 印刷と関連業界新年互礼会 場所 名古屋東急ホテル 講演会:15:30~17:00 3階「パロックの間」 講師:全日本印刷工業組合連合会会長 浅野健氏 演題(調整中) 新年互礼会:17:30~19:30 3階「ヴェルサイユの間」
2月16日(土)	事業・行事 印刷営業講座*受講資格=一般印刷の営業実務経験1年以上の方 場所(予定) 愛知県印刷会館 3階 会議室 2月16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、3月1日(土)、2日(日) ・土曜日=13:00~18:00 ・日曜日=10:00~16:00 ・受講料:愛知県印刷工業組合員一人22,050円、一般人35,000円
2月22日(金)	事業・行事 中部地区印刷協議会 下期会議 場所 キャッスルプラザ ・オブザーバー参加をお願い致します。 ・詳細については、事務局までお問い合わせ下さい。
2月19日(火) 15:30 ~	事業・行事 理事会 場所 印刷会館 3階 会議室 事業・行事 印刷営業技能審査認定試験 *受講資格は一般印刷の営業実務経験2年以上の方
3月8日(土) 10:00 ~ 16:00	場所(予定) 名古屋都市センター特別会議室(名古屋市金山) ・10:00~10:30 = 注意事項、説明等 ・10:30~11:30 = 知識試験 ・12:30~16:00 = 見積技能試験 ・受験料:12,600円

OLIVER496SD

大型多色SDシリーズ 第一弾

菊全判4色印刷機

オールインワン

最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

Sakurai

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
http://www.sakurai-gs.co.jp

本社 〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

名古屋営業所 〒451-0084 名古屋市中区上郷町2-9-1
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545

大阪営業所 〒532-0012 大阪市淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場 〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146



開会式でのテープカット（中央が小森印刷機材団体協議会会長）

新技術・新システムのオンパレード

印刷機材団体協議会（小森善治会長）が主催する4年に1度のビックイベント、国際グラフィックアーツショー「IGAS2007」が開催されました。今回のテーマは「プリントメディアの未来 - 信頼と進化」。

開会式は、9月21日（金）午前9時30分から東京ビッグサイト・レセプションホールにおいて、来賓に中野正志経済産業副大臣、（社）日本印刷産業連合会山口政廣会長らを迎え約400名の出席者を得て行われました。

主催者を代表して小森会長が「IGAS2007は、東京ビ



ミズノプリンティングミュージアムでの手引き活版印刷機の実演



賑いを見せる会場

ッグサイト東西全館を使用し、世界中より550社が展示している。最新の印刷関連機器が多数披露されており、充実した展示会であると自負している。国際機材展として期待に十分応えられるものと確信している」とし、「出展者にとっては営業的に実りのあるものに、来場者にとっては知識・経験を深め、確認できる展示会になるものと思う」と述べました。次いで、来賓を代表して中野経済産業副大臣が、「印刷産業は、様々な産業の発展と、我が国文化の発展に貢献してきた。今後は更に産業のデジタル化の進展や情報通信インフラの進展に対応し、新しい技術・製品を作り出していくことが期待されている。印刷機材の製造を始めとするものづくりは、我が国の産業や文化の発展を支える礎である」と述べました。

更に、日印産連山口会長は、「IGAS2007で、印刷産業の進むべき生産システムや技術面でのヒントが得られるものと期待する」と挨拶しました。

テープカットが行われ7日間にわたるIGAS2007がスタートしました。

初日から大勢の見学者が詰めかけ、世界4大機材展の一角を担うIGAS2007は、上々のスタートを切りました。会場内では、出品各社の多彩な企画とソリューションが花開き、印刷産業の未来展望が模索されました。



記念撮影に納まる受賞者（二列目右から五人目が高井氏、同列右から三人目が中坂氏、同列右から一人目が吉田氏）

プリ・テック㈱「特別賞」受賞

前列左から3人目が藤田氏、右隣が山口会長、1人おいて林氏
特別賞を受ける高井氏（右写真中央）

（社）日本印刷産業連合会（山口政廣会長）では、印刷産業に対する理解と認識をより一層深めてもらうため、一般社会に対して啓蒙活動を行っています。今年も9月1日より30日までを「印刷の月」と定め、各種行事を行っています。中でもメイン行事となる「印刷文化典記念式典」が、9月26日（水）午後4時30分より、東京・紀尾井町のホテルニューオータニ本館において開催されました。

記念式典の冒頭、山口会長が次のように挨拶しました。「印刷文化典は日印産連が主催する4年ごとの主要行事であり、印刷産業の果たしている役割や将来性を力強くアピールするとともに、生活と文化を支える産業として、更なる発展を誓い合う機会でもある」と述べ、「本年も長年にわたり印刷産業の発展に貢献された皆さんが、日本印刷産業連合会表彰を受けられる。また、印刷産業優良工場表彰も6回目となり、工場環境に積極的に取り組み、地域社会の信頼を得るため努力された工場を表彰することは喜びにたえない」と、表彰者を讃えました。また、印刷産業の現状に触れ、「印刷産業は情報価値創造産業として大きな飛躍が期待されているが、そのためには、ソフト・サービス分野への取り組みを強化し、事業領域の拡大を図らねばならない。日印産連としても、印刷産業が変革期を迎えていることを認識し、変動する社会情勢や技術革新に対応できる業界基盤の強化に一層努力する所存である」と結びました。

次いで、経済産業省商務情報政策局岡田秀一局長が、印刷産業の発展と、日印産連表彰、環境優良工場表彰受賞者にお祝いの言葉を贈りました。

「2007年印刷の月アピール」朗読の後、表彰授与式に移り移りました。

印刷文化賞には、藤田弘道氏（前・日本印刷産業連合会会長、凸版印刷㈱会長）、印刷功労賞には、林初彦氏（㈱大洋社社長、岐阜県印刷工業組合理事長）ほか10氏。印刷振興賞には、中坂寛宏氏（上野印刷㈱社長、三重県印刷工業組合元理事長）、吉田國男氏（ヨシダ印刷㈱社長、石川県印刷工業組合元理事長）ほか20氏が栄誉に輝きました。また、特別賞には、15年以上にわたり情報誌「文化の森」を、無料作成・配布し、地域文化に貢献したとの理由で、プリ・テック㈱（高井昭弘社長）が受賞しました。この特別賞には、富士製版印刷㈱、全国青年印刷人協議会も受賞しています。

第6回目となる印刷産業環境優良工場表彰授与式に移り、経済産業大臣賞にトーヨー加工㈱小山工場（栃木県小山市）が受賞。その他、13工場が表彰されました。更に、印刷文化典公募ポスター表彰式も行われました。

各表彰式終了後、受賞者代表謝辞が行われ、印刷文化賞受賞の藤田弘道氏がお礼の言葉を述べ、閉会の辞で印刷文化典記念式典を終えました。

紙をクリエイトする

Kamix



03年2月 ISO14001 認証取得
04年5月 CoC 森林認証取得
04年6月 名古屋市エコ事業所認定

大河内紙業株式会社

本社 名古屋市栄一丁目25-35 TEL.052-220-5511
FAX.052-220-5522

東京営業所 東京都中央区日本橋本石町4-5-3 TEL.03-3242-5561
物流センター 愛知県小牧市下小針中島1-78 TEL.0568-41-5581

U.R.L. <http://www.kamix.co.jp> / E-mail: info@kamix.co.jp

紙のことなら何でも
ご相談ください。



最新の価値ある情報を
常に提供いたします。



「印刷コラボレーション展2007」



アサヒグラフィックス、アイビーネットが出展

IGAS2007の開催に合わせ「印刷コラボレーション展2007」が、全印工連・東印工主催により開かれました。

開催にあたり浅野健全印工連会長は、「当連合会・組合では、組合員企業に業態変革プランを示し、変化に対応するのではなく、自らの意志でお客様思考に立つとの考えに基づいた変革を進めていくこと、また、1社単独での生き残りは難しく、強みのある社外パートナー（共創ネットワーク）が必要であることを積極的に発信している。今回、業態変革推進プランで提唱されている、自らを積極的に情報発信して、日常の仕事のパートナーを見付け、コラボレーションする、そのようなネットワークづくりのきっかけとなる場を設けた」と述べています。

今回、96社・団体の出展があり、7日間の会期中、文字通りコラボレーションが図られました。愛印工組の組合員から㈱アサヒグラフィックス、㈱アイビーネットの2社が参加しています。

アサヒグラフィックスは、営業・企画・制作・印刷・加工・納品までを一貫して提供するシステムの構築を含め、「I&Cソリューションパートナー」をキャッチフレーズに、ソリューションの提供、高品位印刷と通信技術の活用研究を通じ、顧客とともに明るい未来を切り開く情報コミュニケーションパートナーをアビ

ールしていました。一方、アイビーネットでは、「スクリーンショット.jp」での、ホームページのレイアウトチェック環境提供と、特殊レンズの効果によって絵柄が浮かび上がる立体カレンダー「3D卓上カレンダー」などをPRしていました。

コラボレーション展ではありませんが、大同紙工印刷㈱が東館に出展していました。「創造と探求は感動の源である」とのキャッチフレーズを掲げ、刷れないものに刷っていきこうという探求心、独自開発の技術と新鋭設備で、高品位なカラー印刷をアピールし、注目されました。

お知らせ

「メディアユニバーサル
デザインの指南DVD」制作

山口県印刷工業組合

山口県印刷工業組合（大村俊雄
理事長）は、国や自治体が対応を

推進する「すべての人にやさしいデザイン」に対処するため、印刷メディアを中心とした色と文字情報のユニバーサルデザインを啓蒙するDVDビデオ「メディアユニバーサルデザイン」を制作。内容は、「ユニバーサルデザインの重要性」「色覚の違いについて」「色覚シミュレーション」「色や文字での対処法」を具体的に解説しています。

詳細については、山口県印刷工業組合（下関市長府扇町9-11 ㈱岡本紙工内）TEL0832-49-1117、FAX0832-49-0963まで問い合わせを。



制作された「メディアユニバーサルデザイン」のDVD

事務局だより

4年に一度の国際印刷機材展「IGAS2007」が開催されました。初日から大勢の見学者で大変な賑いを見せていました。国際展だけあり世界各国から印刷人が訪れており、日本から印刷の情報が発信されるのだと思うと、まんざらでもない気がしました。とはいえ、あまりにも高度になり、果たして付いていけるのだろうか、という不安と焦りが起きてきたのも事実でした。4年後にはどのような印刷の姿が見られるのでしょうか。

「あいちの印刷」

No.431

平成19年10月10日発行

発行人 白井 紘一

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL 052 962-5771（代表）

FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp